

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所独自の理念を抱えつつも、全役員・職員が常日頃から、その理念を十分に自覚・認識しながら業務に携わっているとまではいえない状況にあるのではないかと？	全役員・職員が掲げている、運営理念や基本方針を噛み砕いて、自らその意味を理解し、納得しつつ利用者の日常生活の中で、サービス面でも生きいきとその成果が発揮されるようにしたい。	毎月のケアカンファレンスはもとより、日常的にも我々は「誰のため、どうしてこの業務に携わっているのか？」という仕事を何のためにするのか？という基本的な精神論を職場全体で盛り上げるためにも、研修の機会を増やすと共に、ホーム長や管理者は意識的に普及しながら、職員個々の自覚を確認する必要も大切である。	6ヶ月 (常時)
2	4	概ね年6回、2ヶ月に1回の開催に至っていない。	2ヶ月に1度の開催できるように努める。	年間事業・行事計画の協議や実施行事の報告を議題にする。また、入居者の日頃のサービス提供のあり方や地域福祉の課題及び認知症疾患を地域住民にどう伝達普及すべきかの具体的な方策を話し合ってみる。	1年
3	10	家族の中には「入居者を預って貰っている」と言う意識があり、遠慮が見られ、苦情、相談するという雰囲気欠けていると思われる。	介護保険制度への移行や契約による対等の関係を説いて、利用者の生活改善に積極的に参加して頂くように呼びかける。	ホームを運営する役員や職員は絶対家族にはなり得ない事を理解してもらい、利用者や家族達が自らこのホームの生活環境を創造する役目の大切さを自覚し、積極的に苦情なり提案や相談しやすい環境を創りたい。	6ヶ月
4	35	日中の災害時は比較的勤務者が複数存在し、近隣職場や住民の協力が得やすい状況にある。夜間帯は夜勤職員が1名であり、地域住民や職場の協力を求め難い時間帯である。	夜間の災害においても、地域町内会住民や消防団員の協力を求めるため、日頃からグループホームとして呼びかけ、高齢者の介護施設として関心と理解を求め協力体制を確立したい。	当ホームが所在する地域は純商業地のため、町内会活動は消極的である。同じ町内会の中には民生・児童委員、消防団員、商工会青年部員が在住するので、その方達の積極的な協力を求めるようにしたい。	6ヶ月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。